



ご遺族など80人が 参列し戦没者追悼式

平成26年度訓子府町戦没者追悼式が7月15日、忠魂碑前で行われ、ご遺族や関係者約80人が参列しました。戦没者に対して黙とうを行ったあと、菊池町長の式辞に続いて、参列者一人ひとりが献花し、英霊を追悼しました。訓子府町の戦没者は、ご遺族の所在が不明な方も含めて224柱となっています。また、町内の遺族105人、町外が5人、町外が95人となっています。

追悼式が行われた会場にある忠魂碑横の平和記念の碑には、これら戦没者の名前が刻まれており、参列者は、その名前などを見ながら、あらためて手を合わせました。



野生大麻根絶へ 抜き取り作業実施

約6,100本を除去

町内に自生する大麻の集団抜き取り作業が7月11日に行われました。

ライオンズクラブをはじめ、防犯協会、訓子府高校、訓子府消防団、北見保健所などから合わせて約50人が参加しました。

6月から9月までの野生大麻・不正けし撲滅強化期間にちなみ、北見保健所管内で毎年抜き取り作業が行われています。

暑さの中、参加者は人の背丈よりも伸びている野生大麻を1本1本抜き取り、撲滅に向けて汗を流していました。

今年は、6,058本を抜き取り処分しました。

訓子府消防100年記念 消防ランドを開催

はしご車が大人気



訓子府消防100年記念事業の「消防ランド」が7月19日、町公民館前駐車場で開かれました。各種消防車両の展示や煙体験・消火体験なども行われ、家族連れなど約300人が訪れ、にぎわいました。はしご車試乗では、子どもたちを乗せ、20mの高さ(はしご車は最大46m)まではしごを伸ばしました。子どもたちは、その高さに驚きながらも、はしご車試乗を楽しんでいました。訓子府消防は、大正4年に私設の消防組ができたことを起源とし、本年度100年目を迎え、来年2月の記念式典など各種記念事業を繰り広げています。



ウオッチング



訓子府の小学生各種大会で大活躍

小学生陸上全道大会に6人出場

第32回北海道小学生陸上競技大会が、7月20日、21日に網走市で開かれ、訓子府町から6人の小学生が出場し、自己ベストを出す児童もおり、活躍しました。

6人は、竹部悠響さん(6年生)、河端真奈さん、安達柚月さん(以上訓小5年)、寺澤奏綺さん、竹部希咲さん、横山心映さん(以上訓小4年)。

北海道大会では、6人ともに、日ごろの練習の成果を発揮していました。



水泳ジュニア オリンピックに 4人が出場

「全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会北海道予選会」が7月12日、13日に江別市で開かれ、訓子府小学校の児童4人が出場し、活躍しました。

4人は、福田瑞希さん(訓小5年)、山田陽登さん(訓小4年)、工藤詩織さん(訓小4年)、工藤優太さん(訓小2年)。

4人は、50m平泳ぎや自由形、背泳ぎ、バタフライ、200m個人メドレーなどで北海道予選会に出場。日ごろの練習の成果を発揮し、力強くけんめいに泳いでいました。



少年サッカー北網大会で優勝

サッカースポーツ少年団「銀河ジュニアF.C.2002」の小学1、2年生チームが、7月13日に美幌町で開かれた第29回北網地区社明杯少年サッカー大会兼美幌ライオンズカップサッカー大会のU-8(アンダー8小学1、2年の部=8人制サッカー)で優勝しました。

銀河ジュニアは、1回戦網走ジュニアFCを4-0、準決勝では斜里を2-0でそれぞれ下し、決勝では美幌UFOに11-0と大勝。

7月16日に木下詩音主将(訓小2年)ら10人が役場を訪れ、菊池町長に優勝を報告。今回の大会は全道規模の大会にはつながらないものの、今後の大会で「全道大会出場をめざす」と話していました。

リアル野球盤ゲーム



ホームランに歓声

北海道日本ハムファイターズ主催のリアル野球盤ゲーム大会が、7月5日にスポーツセンターで開かれました。高齢者が手軽に野球を体験し、健康増進を目的に、元プロ野球選手がゲームの紹介や指導を行っています。元日本ハム選手の立石尚行さんと浅沼寿紀さん(旭川南高校出身)の指導のもと、30人の参加者が野球盤ゲームを体験、ホームランを打つと、会場内に大きな歓声が響き、参加者は野球を存分に楽しんでいました。



ウオッチング

